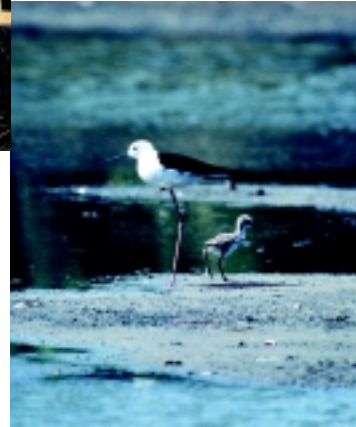




行徳野鳥観察舎

行徳の近郊緑地特別保全地区にあります。傷病鳥の収容・回復訓練施設が併設され、野鳥観察のみならず、野鳥保護・自然環境保護の普及啓発活動に利用されています。



(セイタカシギ：撮影 石川 勉)



「千葉県の保護上重要な野生生物～千葉県レッドデータブック～動物編」

県内における絶滅のおそれのある野生動植物の現状と保護のあり方を明らかにし、県民各層の理解と協力を得るため、7年から作成作業を進めてきたもので、12年3月に動物編を発行しました。

ちば環境フェア 2000

12年6月10、11日、幕張メッセで開催し、多くの県民の方々が参加されました。



大気環境の監視



大気環境の常時監視は、一般環境大気測定局と自動車排出ガス測定局で自動測定により行っています。
写真(左)は八街市八街測定局

大気測定車「おおぞら」は「動く測定車」として大気汚染の調査などに機動性を発揮し、常時監視と合わせて大気汚染の未然防止に大きな役割を果たしています。



下総飛行場周辺航空機騒音実態調査



下総飛行場周辺の航空機騒音を把握するため、8地点で連続2週間の調査を実施しています。
写真(左)は沼南町老人福祉センターでの実態調査。

写真(右)は航空機騒音自動測定装置。





親と子の東京湾視察会

東京湾の水質の現状、水質浄化対策について知ってもらうため、毎年実施しています。写真は水質調査船「きよすみ」による水質調査の実演風景（左）と東京湾の水質に関する展示コーナーの様子（下）



地下水調査

どの地層の地下水を汲み上げているのか確認するため、井戸の構造や地下水位などを調べています。

手賀沼環境教室

手賀沼の自然を通して、広く環境問題に対する意識の高揚を図ることを目的に開催しました。





ダイオキシン類分析室 (廃棄物情報技術センター)

センター内に「ダイオキシン類等分析施設」があり、大気・水質・土壌・廃棄物など、環境中のダイオキシン類を分析しています。
写真は、ガスクロマトグラフ質量分析計で分析しているところ。

クリーンウェイト千葉 2000

産業廃棄物に対する認識を一層深めるため、6年度から開催しています。写真は知事のあいさつ(右)と廃棄物についての演劇を行っているところ(下)。





エコマインド養成講座

環境学習の指導者を養成するため、参加体験型の環境学習講座を開催しています。写真は、一般コースで「音」をテーマとした講義に熱心に耳を傾ける受講生の様子(左)。

写真は教員コース。清和県民の森での研修風景。実際に川へ入り、水辺の生態系について説明しているところ(右)。



県民環境講座

環境問題の現状等について理解を深めてもらうため開催しており、毎回多くの県民の皆様の参加を得ています。写真は講義に熱心に耳を傾ける受講者の様子。



こども環境講座

環境についてやさしく理解できるよう、子供たちを対象に参加体験型の講座を実施しています。写真は柏の葉公園(柏市)で自然観察した結果を発表しているところ。

こども環境会議ちば2000

12年10月22日こどもエコクラブや環境学習推進拠点校で環境保全活動をしている子供たちが幕張新都心に集い、活動内容の発表や交流が行われました。



リサイクル等ゲームコーナー(ちば環境フェア2000)

ごみの分別、リサイクルの大切さを知ってもらうため実施したゲームの様子。分別して出してほしいビン類、牛乳パック等が輪投げの的になっています。